

4 アイディアの概要

私たちは障害福祉施設で作る商品の案を3つ考えた。
第一のアイディアとして、「押し花」のしおりを考えた。
これを作るにあたってのメリットは、花や草をとる為に、外に出るので、気分転換をすることができる点である。デメリットとしては足や目の不自由な人は作業が難しいところである。そのため第二の案として、「抹茶を使ったメロンパン」を考えた。メロンパンにお茶をつかうことによって静岡ならではの品ができる。そして、手を使うことによって、頭にとっていい体操になる。頭を使うことによってポケ防止になる。さらに第三のアイディアとしては「野菜の栽培」である。野菜の栽培であれば、火も刃物も使わず安全である。そして誰にでもおこないやすい。

野菜の栽培について

野菜の栽培は、施設の敷地内で野菜を育て、スーパーにおいてもらったり飲食店において料理に使ってもらうなどの活用方法がある。また、野菜を育てることは体の健康にもつながるし達成感や喜びを感じることができる。季節によって栽培する野菜を変えることによって季節感を感じることができる。

商品販売についての提案

今の健常者は障害者に偏見を持った人が多くいると言わざるをえない。販売においてもそれを感じる。私たちが障害者施設で作られた商品を見たのは市役所の角の暗い通路だった。品物も無造作に置かれておりあまりよい印象を受けたことはない。だから可愛い雑貨店やチェーン店の協力を仰ぎ店においてもらうべきだと思う。そうすれば、手にとってみてくれるはずだ。パッケージもかわいくすると若い人が興味を持ってくれるだろう。そして、健常者の人が障害者の人に理解を深めることが大切だ。

応募するに当たって、私たちは障害者の人達について深く考えさせられるいい機会になった。今回は商品そのもののアイディアだったが、商品のパッケージや商品のネーミングなどのアイディアを募集するのも理解を深めるいいきっかけになると思う。

※詳細については、資料（様式自由）を作成し、添付してください。